

海とともに生きるまち塩竈

松島湾の再生に向けて

皆さん、「アマモ」という植物を知っていますか？「アマモ」は砂や泥の海底に根を張って育つ植物で、群生してアマモ場と呼ばれる群落を作ります。そのアマモ場は海水の流動を和らげ、魚の卵や稚魚などを天敵から守ってくれます。また、葉上に付着する小さな藻類や甲殻類は稚魚魚にとって格好のえさとなり、生育場として重要な役割を果たしていることから「海のゆりかご」と言われています。

しかし、松島湾内で1300ヘクタールあったアマモ場は、震災の津波被害でその大半が流失し、沿岸漁業に大きな影響を与えています。



松島湾アマモ場再生会議 理事 瀬戸慎也さん

アマモ場再生に向けて活動している団体「松島湾アマモ場再生会議」は、商工会議所や漁業関係者などによって構成されています。理事で釣り船を営んでいる瀬戸さんは、「今まで松島湾にいた魚などの生物が減ってきているなど震災後数年で実感し、あらためてアマモの必要性を感じました。また、アマモ場再生会議では、アマモを増やす活動はもちろんのこと、子どもたちが海とたくさん触れ合っ、身近に感じてもらえるような活動をしていきたい。」と、話してくれました。



「松島湾アマモ場再生会議」は、子どもに松島湾の生物を知ってもらいたいと、市内小学校でアマモに関する授業を行ったり、親子で参加できるイベントも行っていきます。

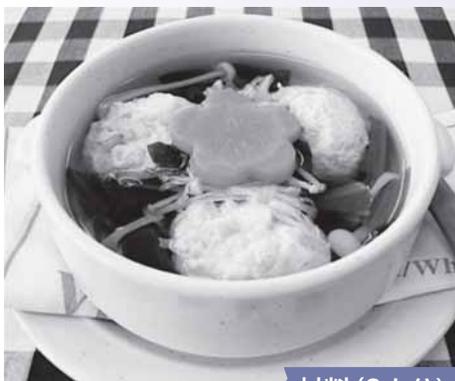
(写真上) 昨年のアマモの花枝(種)採取会に多くの親子が参加しました(写真下) 市内小学校でアマモを育てています

松島湾アマモの花枝(種)採取会

海のゆりかごと呼ばれるアマモ場で、移植するための花枝(種)を採取します。

とき 6月19日(日)8:45~13:00 ところ 桂島
持ち物 濡れてもよい服、着替え、靴(ビーチサンダル不可)、バスタオル、帽子、救命胴衣(持っている場合)
申込 参加人数をお知らせください
※小学生以下は保護者同伴 ※参加無料

問 伊藤 ☎090-3126-1692 FAX362-2490



ポリ袋を使って簡単クッキング! ふわふわスープ

作り方

- ①厚手のポリ袋に鶏ひき肉とネギのみじん切りを入れて袋の外側から手でよく混ぜ合わせてから、はんぺんを加えて軽くもむ。
- ②鍋にスープを入れて沸騰させる。
①の袋の角を2センチほど切り取り、袋を絞りスプーンで中身を受けて鍋に落とし入れる。
- ③ふわふわだんごに火が通ったら、チンゲン菜、エノキ茸、塩少々を加え、味をみながらコショウをふり、少ししたら火を止めて器に盛る。
- ④型抜きしたニンジンをゆでて飾る。

材料(2人分)

- はんぺん..... 半分(35g)
- 鶏ひき肉..... 50g
- ネギ(みじん切り)..... 30g
- チンゲン菜..... 35g
- エノキ茸..... 20g
- ニンジン..... 2枚(型抜き)
- 塩、コショウ..... 少々
- スープ
- 水..... 2カップ
- 鶏がらスープの素..... 大さじ1/2

おいしおがま 食育レシピ Part2

弱火で火を通すのがおいしく作るコツです。手を汚さずに作れるので、子どものお手伝いにもぴったり!



塩竈市食生活改善推進員 副会長 鈴木さん 会長 穂積さん

問 保健センター ☎364-4786

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1MHz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H28.4.30現在

住民基本台帳調べ (前月比)	
人口	55,217人 (-30人)
男	26,379人 (-3人)
女	28,838人 (-27人)
世帯数	23,088戸 (+22戸)